



# R2 大久保小学校 学校経営・運営ビジョン

## 児童の実態

- 素直で、決められたことややらなければならないことは最後までしっかり行う
- 学年の枠を超えて仲がよい。上級生が下級生の面倒をよく見る。親切。思いやりがある。
- 自分から考えて行動することが苦手。指示待ちの傾向。
- 新しいことに挑戦したり、更なる高みを目指したりしようとするのが苦手。

## 教育目標

### 主体的・創造的に生きる心豊かな子どもの育成

進んで学ぶ子ども

思いやりのある子ども

たくましい子ども

～ 気づき、考え、実行する子ども ～

## 目指す教師像

- 子どものよさや可能性を伸ばせる教師
- 子どもに学力を付けられる教師
- 子どもの話を親身になって聴く教師
- 親の気持ちを分かろうとする教師
- いつも明るく元気にさわやかな教師

## 目指す学校像

### 笑顔にあふれ、明日も楽しみな学校

生き抜く力を身に付けさせる学校

一人一人の子どもへの理解に務め、そのよさを大切にする学校

保護者や地域住民の協力のもと、地域のよさを生かした教育を展開する学校

教職員が強い情熱のもとやりがいをもって教育活動を展開する学校

## 地域の実態

- 子どもの教育に対して関心が高く、教育活動に協力的な地域住民が多い。
- 教育活動に有益な人材や教育資源が多い。
- 少子化が進んでいる。

## スローガン 「やさしさいっぱい 本気いっぱい 笑顔いっぱい」

### 今年度の重点・努力点

- 特別支援教育の充実
- 豊かな心を育む行事や体験活動、道徳授業の充実

- 基礎的・基本的な知識技能の確実な習得
- 思考力・判断力・表現力の育成
- 幼保小中連携・小中一貫教育の推進

- 食育・体育の充実による健康教育の推進
- 安全・安心な学校づくりの推進

## 研修の充実

- 教科指導の向上（授業研究の実践）
- 複式学級指導・少人数指導
- 幼保小中連携・小中一貫教育の推進
- 児童理解の研修
- 新しい取組（外国語、ICT活用、プログラム教育、キャリア教育など）

## 目指す児童の姿

- 考えたことをまとめて、表現できる子ども
- 学んだことを活用できる子ども

- 運動に親しむ子ども
- 健康に気をつけて生活する子ども

### 温かい人間関係づくりを進めます

- 温かい人間関係の構築を進めます。
  - ・ 「ふれあいタイム」を活用し、異学年交流を進めます。
  - ・ 人とのかかわりを深める教育活動を進めます。
  - ・ いじめの早期発見・早期対応に努めます。
  - ・ 積極的に教育相談を実施し、一人一人がのびのびと生活できるようにします。
- 集団の一員としての自覚をもたせ、よりよい学校づくりに取り組ませます。
  - ・ 「大久保小4つの約束」を実行できるようにします。
  - ・ 向上し合える学級集団づくりを進めます。
  - ・ 係や委員会活動を充実させます。
- 思いやりの心を育てます。
  - ・ 道徳の授業の充実に努めるとともに、学校教育活動全体を通して心の教育を進めます。
  - ・ 体験活動を通じた心の教育を進めます。
  - ・ 奉仕活動及び人権教育を進めます。

### 楽しくわかる授業を進めます

- 学びの基礎づくりを行います。
  - ・ 「マナビタイム」を活用し、漢字・計算の反復練習と読書の習慣化を進めます。
  - ・ 「学習の約束」（飯野中学校区共通実践事項）をもとに、しっかり授業に取り組むよう指導します。
  - ・ 家庭学習の習慣化を図ります。
  - ※家庭学習の時間＝学年×10分+10分
- 基礎・基本の確実な定着と活用力の向上を図ります。
  - ・ 個に応じた指導を進め、一人一人に学習内容が確実に身に付くようにします。
  - ・ 学習の足跡がわかるよう、ノートづくりを充実させます。
  - ・ 思考力、判断力、表現力を育成します。
  - ・ 共生社会の実現を目指し、特別支援教育を充実させます。
- 話し合い活動や学び合いを推進します。
  - ・ 聴き方や話し合いの仕方が身に付くよう指導します。
  - ・ 学習内容や学び方を振り返る時間を充実させます。

### 健康な体づくり・生活づくりを進めます

- 体育指導の充実に努めます。
  - ・ 「フィジカルタイム」の実施と、学習カードや記録証の活用により、運動の習慣化を図り体力・運動能力を向上させます。
  - ・ 体育の時間に運動量・学習量を確保し、体力・運動能力を向上させます。
- 基本的な生活習慣の育成と健康教育を推進します。
  - ・ 家庭との連携により「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣が身に付くよう継続して働きかけます。
  - ・ 食育の充実により、望ましい食生活を育成します。
  - ・ 保健活動の充実による健康への意識を高めます。
- 自分の命は自分で守る力を身に付けさせます。
  - ・ 防犯教室・防災訓練等の学校行事をはじめ、学校教育活動全体を通して、危険予知・対応力を高め、安全で安心できる生活を送れるように指導します。
  - ・ 放射線に関する正しい知識をもち、そこから身を守ることができるよう指導します。

## 教育環境を整える

- ① 安全で円滑な教育活動が行える環境づくりに努めます。（施設設備、登下校時の安全確保・指導の徹底、各種団体・関係機関との連携など）
- ② 栽培活動に積極的に取り組み、潤いのある環境づくりに努めます。
- ③ 子どもたちが、読書に親しめるように図書室の整備に努めます。
- ④ 子どもたちがICTを進んで活用できるように、環境の整備に努めます。

## 開かれた学校をつくる(地域力)

- ① 学校の取り組みや様子を積極的にお知らせし、PTAと協働で学校の運営・改善に努めます。
- ② 地域との情報交換に努め、学校改善の指針とします。
- ③ 地域・保護者と連携を図りながら、教育活動を進めていきます。（地域人材・資源の活用）
- ④ 生活科や総合的な学習の時間などでの体験学習を通して、地域の方との交流を深めます。
- ⑤ 保育所・幼稚園・小学校・中学校との連携を深めます。
- ⑥ 学校評議員会を定期的に開催し、学校運営に対する意見を求め、運営・改善に生かします。